

※ 申請を希望する場合は、応募書類を準備の上、2022年3月25日（水）までに農学部・農学研究科教務係に提出のこと。

※ 既に2022年度に他奨学金の受給が決定している者ならびに申請中（直接応募含む）の者については選考対象外とします。

公益財団法人SGH財団

2022年度

私費外国人留学生特定奨学生募集要項

2022年度特定奨学生募集について、博士学位取得を目指す日本の大学の大学院博士課程に在学する私費外国人留学生の中から奨学金の受給者（以下「特定奨学生」という）を下記の要項により募集する。

記

1. 応募資格

特定奨学生に応募できる者は、**東南アジア諸国（注：1）の国籍を有する私費外国人留学生（注：2）**で、**2022年4月1日現在において、（注：3）**下記の要件をそなえる者とする。

- (1) **博士後期課程2年次**、4年制博士課程（医・歯・獣医・薬学部）3年次又は一貫制博士課程4年次に進学する**35歳未満**の者。
- (2) 学業・人物ともに優秀でかつ健康であり、経済的援助を必要とする者。
- (3) **他の奨学金を受給していない者。**
- (4) 奨学金の給付期間中において、当財団が主催する交流会・採用証書授与式に出席できる者。
交流会：2022年10月15日（土）～16日（日）開催予定
採用証書授与式：2022年10月17日（月）開催予定
- (5) 特定奨学生終了後も同窓生として交流活動に積極的に協力できる者

注1：東南アジア諸国とは、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国をいう。
フィリピン・インドネシア・シンガポール・マレーシア・タイ・ブルネイ
ベトナム・ミャンマー・ラオス・カンボジア

注2：「私費外国人留学生」とは、出入国管理及び難民認定法別表第1に定める「留学」という在留資格により、日本の大学、大学院において教育を受ける外国人学生で、日本政府から奨学金を受給していない者をいう。

注3：**春期入学のみ対象・秋期入学は対象外**

※ 4月に別部局へ進学する者は、進学先の部局でとりまとめること

※日本語によるコミュニケーションが可能な者（留学目的等を説明するのに十分な能力を有する者

※4月1日に確実に仙台にいる者

※総長特別奨学生で大学推薦された場合、受給期間中（2022年4月～2024年3月）の授業料免除申請はできません。

2. 特定奨学生採用予定人員

5名

3. 奨学金

特定奨学生として採用した者に対して、奨学金 月額 180,000 円を毎月 5 日迄に給付する。

4. 奨学金の給付期間

奨学金の給付期間は 2 年間とする。(2022 年 4 月から 2024 年 3 月まで)

別紙【SGH財団 申請時確認事項・提出書類】参照

5. 応募の手続き ※使用する様式・枚数は4月現在での在籍課程により異なるので注意すること

- (1) 特定奨学生に応募する留学生は、大学院博士後期課程〈別紙様式 3-1、3-2〉(様式 3-2-3、3-2-4 のみ本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可) の申請書等に下記の書類を添えて、大学が指定する日までに在学する大学宛に提出しなければならない。申請には、所定の用紙内に収まるように記入すること。なお、すべての申請用紙に自筆で日本語で記入すること。(ダウンロード可の様式を除く)

【注意】記入は黒いペンで楷書、アルファベットは活字体を使用 ※応募書類は全て片面で印刷すること

- ア. 指導教員等の推薦理由書〈別紙様式 3-3〉
(本財団ホームページ <https://www.sgh-foundation.or.jp> からダウンロード可)
- イ. 在留カードのコピー(表裏)〈別紙様式 3-5〉
- ウ. 学業成績証明書(修士修了時の成績証明書を提出)
- エ. GPA 証明書(学業成績証明書に記載されている場合は省略可)
- オ. 在学証明書
- カ. 合格通知書(4月入学・進学予定者のみ)

- (2) 大学は、前記(1)の申請者の中から適当と認めた者について、学長の推薦書〈別紙様式 3-4〉を添え、本財団に推薦する。

【注意】封筒に大学担当者の氏名と電話番号を明記のこと。

上記書類は返却致しませんのでご了承ください。

6. 応募締切日

2022 年 4 月 17 日(日)(当日消印有効)

7. 選考及び決定

本財団は、5 により大学から推薦(大学院博士後期課程 1 名以内)があった者について、本財団に設ける選考委員会に諮り、理事会の決議を経て決定する。

その結果については、在学する大学を通じて応募者本人に通知する。

(2022 年 5 月中旬頃を予定)

8.奨学金の休止・停止及び期間の短縮

給付対象者の確定後、特定奨学生に次の各号に定める事項が認められる場合は、奨学金の給付を休止、停止及び給付期間の短縮を行うことができる。

- (1) 特定奨学生が休学又は長期にわたって欠席したとき。
- (2) 特定奨学生の学業又は性行等の状況により、特定奨学生として適性を欠くと認められるとき。

9.奨学金の復活

8により、奨学金の給付が休止若しくは停止され、又は、期間を短縮された奨学生について、その事由が解消されたと認められる場合は、奨学金の給付を復活することができる。この場合、給付期間は通算2年間とする。

10.奨学金の打ち切り

特定奨学生が、次の各号の一つに該当すると認められる場合は、奨学金の給付を打ち切りすることができる。

- (1) 申請書の記載事項に虚偽が発見されたとき。
- (2) 大学若しくは大学院において懲戒等の処分を受け、成業の見込みがないと判断される時。
- (3) 申請時と異なる大学若しくは大学院に転学又は進学したとき。
ただし、指導教員の転勤等により特定奨学生が転学又は進学する場合を除く。
- (4) その他本財団特定奨学生としての不適格な状態となり、資格を失ったと判断される時。

11.転 退 学

特定奨学生が退学又は他の大学若しくは大学院へ転学した場合は、特別の事情があると認められるときを除き、奨学金の給付を辞退したとみなす。

12.返 納

奨学金の給付後において、8、10、又は11の各号の事由が生じていたことが判明した場合には、既に給付した奨学金の全部又は一部は返納させることができる。

13.報告書の提出

本財団が、特定奨学生に学業・研究等について照会を求めた場合は、これについて報告書を提出しなければならない。また、学位を取得した時点で、学位授与証明書（コピーも可）を提出すること。

14.届出の義務

特定奨学生は、次の各号の一つに該当する事情が生じた場合は、本財団に届出なけ

ればならない。ただし、本人が疾病等のために不可能なときは、所属大学又は家族から届け出なければならない。

- (1) 傷病、その他の事故により、1 カ月以上欠席するとき。
- (2) 休学、復学、転科、転学部及び退学したとき。
- (3) 他の奨学機関から給付を受けるとき。
- (4) 本人、保証人及び家族の身上、住所等、重要な事項に異動があったとき。
- (5) その他本財団が上記各号等について確認を求めたとき。

15.注意事項

他の奨学財団等から奨学金を受給している学生については、給付対象者とししない。

申請書提出先・問合せ先

〒 600-8009

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 79 番地

ヤサカ四条烏丸ビル 9 階

公益財団法人 S G H 財団 事務局

TEL 075-255-9310

FAX 075-255-9311

MAIL info_ss@sgh-foundation.or.jp

URL <https://www.sgh-foundation.or.jp>

個人情報の保護について:

申請書に記載された内容・提出書類は個人情報として保護されます。

ただし、次のとおり特定の関係者に対してのみ個人情報が提供されます。

- ① 書類審査・選考のため選考委員への情報提供。
- ② 複数の奨学金合格者確認のため、大学担当者及び奨学団体に「被推薦者・合格者一覧」を提供。

公益財団法人SGH財団

2022年度 私費外国人留学生特定奨学生申請書

(大学院博士後期課程)

記入上の注意
①日本語で記入
②自筆のこと

1. 氏名 (母国語)
(ローマ字)

2. 国籍

3. 生年月日 年 月 日 (満 歳 カ月)
(年齢は、2022年4月1日現在で記入のこと)

4. 現住所 〒 ()

電話番号 () -

5. 在籍大学 大学院 研究科 専攻 課程 年次
(2022年 月 日現在)
□理系
□文系

入学年月日 年 月 日 入学

所 材 地 〒 () 電話番号 () -

6. 学 歴

Table with 6 columns: 教育機関の種類, 学校名および所在地, 修学年数, 入学および卒業年月, 専攻科目, 取得した学位または資格等

7. 日本語の学習歴

(1) 学習機関名

(2) 学習機関 年 月から 年 月まで (年 カ月間)

8. 職 歴

Table with 5 columns: 勤務先, 所在地, 勤務時間, 職名, 職務内容

日本への入国年月: 年 月

近影のカラー写真
3cm×4cmの上半身
を貼付すること。
裏面に氏名・国籍
を記入のこと。

1 1. 授業料等の状況

(1) 授業料の減免 (いずれも該当する番号に○印を付すこと)

2022年度について

①受けている (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請している (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

2021年度について

①受けていた (全額・半額・ %)

②受けていない

③申請したが不採用 (全額・半額・ %)

* ②の場合は必ず理由を記入のこと ()

1 2. 他の奨学団体等への応募 (該当するものに必ず○印を付すこと)

①応募していない

②応募している (応募中・応募予定)

* ②の場合は、次の各項目に記入のこと

団体名 _____ 月額 _____ 円

受給期間 _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月

以上のとおり記載事項に相違ありません。

私は、2022年度 公益財団法人SGH財団の募集要項に記載された内容を理解し、奨学生として採用して頂きたいと申請いたします。

公益財団法人SGH財団

理事長 栗和田 榮一 殿

申請年月日 2022 年 _____ 月 _____ 日

申請者氏名 _____

申請者署名 _____

研究主題および研究計画・内容等について

(指導教員名)

(研究主題)

(研究計画・内容等)

2022 年度

(大学院 博士 後期 課程)

学位取得の可能性について

(推薦理由書と合わせてご提出くださいますようお願い申し上げます。)

(1) あなたはこの申請者をいつからご存じですか？

(年 月 から 約 年 ヲ月)

(2) ご指導なさる立場から、この申請者をどう思われますか。

下記の設問について当てはまる記号に○をつけてください。

(A=はい B=どちらともいえない/わからない C=そうでもない)

- a. 自分の意見を進んで発表する (A B C)
- b. 指示がなくても自主的に課題を進める (A B C)
- c. 他者の意見も自由に聞き、必要なら積極的に採り入れる (A B C)

(3) 下記の質問に対し、線上の適当と思う位置に○印をつけてください。

a. この申請者は、予定の期間内に、博士号を取得できると思われますか。

非常にむずかしい 必ず取得できる

I-----I-----I-----I-----I

b. この申請者の研究が公表されると、当該学会でどの程度の評価が得られると思われますか。

非常に低い評価 非常に高い評価

I-----I-----I-----I-----I

c. この申請者は、将来国際交流の面で有為な人物となると思われますか。

非常にむずかしい 非常に確率が高い

I-----I-----I-----I-----I

推薦者 (指導教員等)

2022 年 月 日

所属機関

職 名

氏 名



2022 年度
在留カードコピー貼付用紙

表

裏